



平成29年度
事業報告書



平成29年度法人方針と活動状況について

はじめに・・・

障害者自立支援法（現・障害者総合支援法）の施行から12年が経過し、障害福祉サービス等の利用者は約100万人、国の予算額は約1.3兆円とそれぞれ倍増するなど、障がい者への支援は年々拡充しております。そうした中で、平成27年度の社会保障審議会障害者部会において提言されました「障害者総合支援法施行3年後の見直しについて」を踏まえた改正障害者総合支援法等が、平成30年度障害福祉サービス等報酬改定と同日の平成30年4月1日に施行されました。

この改定では、自立生活援助や就労定着支援等の新サービスの創設、障がい者の重度化・高齢化、医療的ケア児や精神障がい者の増加などに伴うニーズに応じたサービスの提供体制を整備、障がい者の一般就労への移行の促進や就労定着支援の充実などを掲げた一方で、サービスの質の向上が求められていることなどの問題点を踏まえた報酬体系への転換が求められました。結果、平成30年度障害福祉サービス等報酬改定の改定率は全体で+0.47%と、適正なサービスの確保や制度の持続可能性等の観点から決定されました。

以和貴会におきましては、今回の報酬改定による収入増が見込めない状況ではあるものの、この改正により新たに始まった共生サービスの実施検討をはじめ、現在行っているサービスの充実を図り、地域への信頼と将来への期待を担い運営してまいります。

平成29年度の運営は、通所事業のご利用者が増加したことなどにより、当初予算よりも収入は増加しましたが、処遇改善加算等の影響による人件費の増加、設備修繕のための費用増となったことから、施設等設備積立金の取り崩しによる資金を確保することで、当期資金収支差額は前期並みにとどまる結果となりました。2年後に行う予定の「ゆらくの里改修」に向けては、まだまだ努力が必要であり、3月に承認いただきました平成30年度予算において、年間積立額及び手持ち資金の増加は、平成29年度を上回るものが予定できておらず、事業運営の改善が求められます。

各事業、問題点を抱えているものの、ご利用者にとってより良い支援を目指し事業運営を取り組んでおります。今年度も第5回目となる「I W A K I 夏フェス」、法人30周年記念行事など地域の皆さんと一緒に楽しくめる企画をたくさん考えて行います。どのイベントにおきましても多くのボランティア様のご協力のもと行うことができいております。この場をお借りし御礼申し上げますとともに、今後ご協力をお願い申し上げます。

平成29年度法人方針

利他心 + 自立心

1. 各事業 アクションプラン実施報告

別紙報告

2. 数字から見た運営

□平成29年度利用状況について

ゆらくの里拠点は、入所施設、グループホームと安定した利用のある拠点であるものの、近年の重度化、高齢化が進み、入院される方やお亡くなりになられる方が増え、日割りとなった現在の報酬では運営への影響があり、将来を見据えた経営には、十分な収支とは言えない状況であります。また近い将来、数十万人とも言われる介護職員不足は、当法人にも影響があり、いかに学生に魅力を持っていただき雇用につなげることができるよう対応中であります。雇用が法人全体の経営に、大きな影響を及ぼすだろうと考えられることから、全力で取り組んでおります。

今人拠点は、この1年で各事業の利用率が全体的に増加しました。一方、就労移行事業をご利用いただいている方からの一般就労者はおらず、活動や支援についての問題点が浮き彫りとなりました。また契約者の増加は、定員を満たす結果となり、次年度以降の受入れ対応も検討が必要です。

地域拠点においては、利用率が増加し、各事業安定して収益を生む体制へと変わって来ましたが、しかし所有するボノボビルの借入金返済や資産の更新が、予定を上回るペースで必要となってきており、法人全体の当期資金収支差額においては、ぎりぎりの状態で運営しているのが現実であります。

利用率

ゆらくの里（入所支援事業） 定員 60名

	H29.3.31	増加	減少	H30.3.31		
				人数	平均年齢	平均年数
男	38	3	5	36	50.1	18.8
女	20	0	0	20	57.2	22.1
計	58	3	5	56	52.7	20.0

5名の減少の内訳は、2名が死去、2名が医療施設へ、1名が法人グループホームへ異動している。

風鈴山荘（グループホーム）定員 14名

	H29.3.31	増加	減少	H30.3.31		
				人数	平均年齢	平均年数
男	14	1	1	14	48.4	21.5
女	0	0	0	0	-	-
計	14	0	0	14	48.4	21.5

グループホームに移行された方の平均年数は、ゆらくの里での入所期間と通算した年数
1名減は死去による退所、1名増はゆらくの里からの異動による補充。

今人

事業名	定員	H27年度 利用率	H28年度 利用率	H29年度	
				延べ人数	利用率
就労移行支援	10	60.2%	54.7%	1753	69.3%
就労継続B型	10	36.0%	35.6%	1375	54.3%
生活介護事業	20	79.6%	75.7%	4049	80.7%

就労移行事業は、平成27年度より定員を15名から10名に変更しております。

我楽

事業名	定員	H27年度 利用率	H28年度 利用率	H29年度	
				延べ人数	利用率
生活介護事業	15	106.7%	105.0%	4318	115.6%
就労継続A型	10	67.6%	83.7%	1708	66.7%
就労継続B型	10	92.0%	89.3%	2516	100.6%

就労継続A型事業は、平成30年3月をもって事業所を廃止し、ご利用者は4月1日付
ですみれの里就労継続B型事業へ移行されました。

すみれの里

事業名	定員	H27年度 利用率	H28年度 利用率	H29年度	
				延べ人数	利用率
生活介護事業	20	68.5%	80.4%	4218	84.0%
就労継続B型	10	55.4%	61.2%	1366	54.6%

平成25年9月、香芝市の指定事業としてスタート（平成30年8月まで）

放課後等デイサービス

事業名	定員	H27年度 利用率	H28年度 利用率	H29年度	
				延べ人数	利用率
ゆらくの里デイ	10	47.8%	50.9%	1857	74.3%
はぐらいぶ	20	74.1%	79.2%	4034	80.7%

利用契約者数

今人

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成29年3月31日	平成30年3月31日	
就労移行支援	10	7	6	0.60
就労継続B型	10	6	5	0.50
生活介護事業	20	17	18	0.90

我楽

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成29年3月31日	平成30年3月31日	
生活介護事業	15	18	19	1.26
就労継続A型	10	8	7	0.70
就労継続B型	10	11	14	1.40

生活介護の定員を平成30年6月より20名に変更します。

就労継続B型事業は、平成30年3月付で廃止し、4月からはすみれの里の就労継続B型事業へ移行いたしました。

すみれの里

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成29年3月31日	平成30年3月31日	
生活介護事業	20	21	21	1.05
就労継続B型	10	7	6	0.60

放課後等デイサービス

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成 29 年 3 月 31 日	平成 30 年 3 月 31 日	
コテージ	10	21	22	2.20
はぐらいぶ	20	62	61	3.05

短期入所及び日中一時支援事業

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成 29 年 3 月 31 日	平成 30 年 3 月 31 日	
短期入所	10	59	59	5.90
日中一時支援事業	10	60	60	6.00

□平成 29 年度職員状況について

平成 29 年度、法人全体としての正職員の雇用状況は、増加 16 名、減少 7 名（うち 2 名は 28 年度末退職者）となりました。増加の内訳は、新卒採用が 3 名、パートからの雇用形態の変更が 1 名、作業指導員（調理）2 名などです。ただし中途採用の 2 名については、1 か月未満で退職する結果となりました。1 か月未満や体調を崩しての退職などがなくなるように、メンター制度の推進を図るようになったこと、研修の充実を図ることなど、平成 29 年度より長期雇用につながる取り組みを実施しております。また、新卒採用が、これからの福祉の現場及び法人経営には必要不可欠であることから、「マイナビ」を活用した新卒採用に力を注いできました。平成 29 年度が本格的に取り組んだ初年度であり、結果 4 月 1 日採用の新卒者は、前年度に続き 3 名確保することができました。平成 30 年度はさらに、事前からの準備を行った結果、多くの学生に興味を持っていただき、施設見学や面接を現在実施している最中であり、今後も継続して取り組んでいき、法人規模を将来拡大していくうえで、人材育成と共に進めて参ります。

事業名	H29.3.31						H30.3.31						
	人数			人数			常勤 換算	平均勤続年数			平均年齢		
	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計
ゆらくの里													
サービス管理責任者	2	0	2	2	0	2		8.0	6.3	6.8	37.2	43.4	39.5
正職員	13	13	26	16	15	31	26.0						
パート職員	4	11	15	5	10	15	8.7						
計	19	24	43	23	25	48	34.7						
今人													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		2.5	6.1	4.0	33.0	35.7	34.1
正職員	2	3	5	3	3	6	5.0						
パート職員	1	6	7	1	6	7	3.5						
計	4	9	13	5	9	14	8.5						

事業名	H28.3.31			H29.3.31			常勤 換算	平均勤続年数			平均年齢		
	人数			人数				男	女	計	男	女	計
	男	女	計	男	女	計							
我楽													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		2.7	4.7	3.3	38.2	38.8	38.4
正職員	4	3	7	7	4	11	7.0						
パート職員	1	16	17	1	15	16	8.4						
計	6	19	25	9	19	28	15.4						
すみれの里													
サービス管理責任者	0	1	1	0	1	1		7.4	9.4	7.7	47.7	34.9	41.0
正職員	3	2	5	2	2	4	4.0						
パート職員	3	10	13	3	9	12	5.5						
計	6	13	19	5	12	17	9.5						
ゆらくの里デイ													
児童発達支援管理責任者	1	0	1	1	0	1		11.0	3.0	5.7	32.1	24.5	27.0
正職員	0	2	2	0	2	2	2.0						
パート職員	1	0	1	1	1	2	1.0						
計	2	2	4	2	3	5	3.0						
はぐ・らいぶ													
児童発達支援管理責任者	0	2	2	0	2	2		1.0	5.6	4.8	24.7	34.0	32.5
正職員	0	3	3	1	2	3	4.0						
パート職員	2	2	4	2	2	4	2.4						
計	2	7	9	3	6	9	6.4						
しえ〜く													
正職員	0	2	2	0	2	2	2.0	-	8.8	8.8	-	55.1	55.1
パート職員	0	1	1	0	1	1	0.4						
計	0	3	3	0	3	3	2.4						
事業企画推進室													
正職員	1	0	1	1	0	1	1.0	6.0	-	6.0	56.1	-	56.1
パート職員	-	-	-	-	-	-	-						
計	1	0	1	1	0	1	1.0	5.0	-	5.0	54.0	-	54.0
のあ													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		14.0	-	14.0	43.1	-	43.1
正職員	-	-	-	-	-	-	-						
パート職員	0	7	7	0	7	7	2.9						
計	1	7	8	1	7	8	2.9						
そーる													
サービス提供責任者	1	0	1	1	0	1							
正職員	-	-	-	-	-	-	-						
パート職員（登録）	15	28	43	17	31	48							
計	16	28	44	18	31	49							
管理・厨房													
正職員	5	2	7	5	2	7		8.7	9.5	8.9	42.4	51.7	45.0
パート職員	1	7	8	3	8	11							
計	6	9	15	8	10	18							
合計													
サービス管理責任者	7	3	10	7	3	10		6.8	6.5	6.7	38.4	40.2	39.3
正職員	28	30	58	35	32	67							
パート職員	28	88	116	33	90	123							
計	63	121	184	75	125	200							

看護師はゆらくの里に含み、A型事業所の就労職員及びアルバイト職員は含んでいない
パート職員の常勤換算数は、簡易算出として給与支給計算期間の平成30年3月支給給与により算出しているため、あくまで参考である（常勤の月勤務時間数を165時間で計算）
合計欄の「サービス管理責任者」には、「児童発達支援管理責任者」及び「サービス提供責任者」を含む
そーるのヘルパーには、当法人の正職員及びパート職員が含まれ、結果法人全体の総数は延べ人数となる
のあのサービス管理責任者はしえ〜くの職員が兼務しているため、しえ〜くから除いている

□平成29年度残業について

平成29年度は、法人全体として職員数が増加したものの、ご利用者の数も増えたため、職員1人当たりの負担は増加しました。そのため、各事業残業数は増加しました。中でも就労継続事業における作業指導員の負担は大きく、4名で全体の約1割を占める結果となっております。各活動のあり方、仕事の分担などの改善が必要であります。その他各事業において、それぞれの要因があり増加しておりますが、人員が増加傾向にある中、いかに減少させることができるかも今後検討材料であります。

参考

各拠点に属する事業は以下のとおりであります。

ゆらくの里・・・ゆらくの里、ゆらくの里デイサービス

今人・・・今人、すみれの里、そら

地域・・・しえ〜く、我楽、はぐらいつ、のあ、そ〜る

〔時間〕

単位：時間

拠点	H27年度	H28年度	H29年度			
			人	時間	増減率	1人/月
ゆらくの里	4745.25	6224.75	39	6276.25	+0.8%	13.46
今人	1893.25	1472.75	16	2341.75	+59.0%	14.91
地域	2211.50	1974.75	15	2595.75	+31.4%	15.17
計	8850.00	9672.25	70	11213.75	+15.9%	14.12

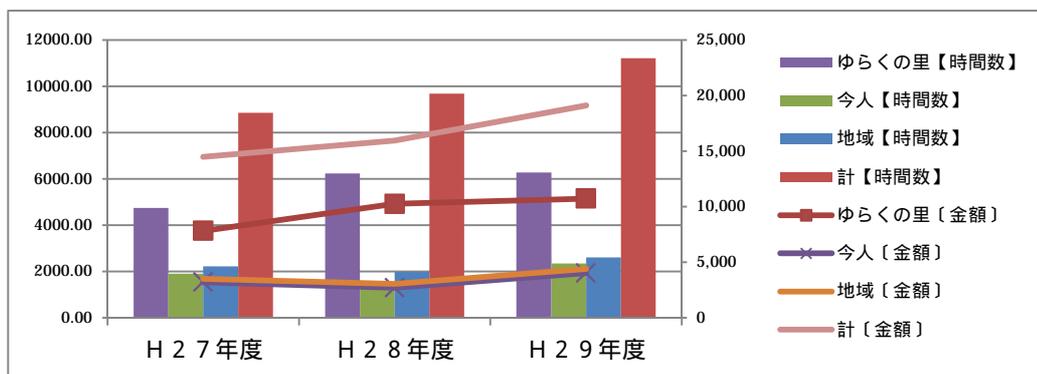
〔金額〕

単位：千円(1人当たりは円)

拠点	H27年度	H28年度	H29年度			
			人	金額	増減率	1人/月
ゆらくの里	7,810	10,237	39	10,712	+4.6%	22,988
今人	3,181	2,676	16	4,002	+49.5%	25,492
地域	3,492	3,025	15	4,385	+44.9%	25,647
計	14,484	15,939	70	19,100	+19.8%	24,056

ゆらくの里中には、直接支援者以外（管理、厨房など）の職員を含み、管理者は除く
集計は申請分のみ

平成30年3月31日在席の正職員が集計の対象



□平成29年度有給休暇取得について

ゆらくの里拠点は、29年度もインフルエンザが流行したことで、数名の職員数が罹患しお休みする結果となりました。

平成29年度の法人全体の取得増加要因として、特定の職員が有休取得するケースがあったことです。まとまった取得とは、慢性的な体調不良者、本人又は親族の通院、資格取得のための研修などであり、対象者6名で全体の約3分の1を占めております。

過去に政府が提案した「年間5日の有給休暇取得の義務化」の実現は見えませんが、福祉業界は他業界と比較しても、体だけでなく心のケアも必要な仕事であるため、もっと取得しやすい職場にしていかなければなりません。

拠点	H27年度	H28年度	H29年度		
	取得日数	取得日数	人	取得日数	1人当たり取得日数
ゆらくの里	73.0	104.0	42	121.5	2.89
今人	49.0	47.0	15	65.0	4.33
地域	64.5	73.0	20	111.5	5.57
計	186.5	220.0	77	298.0	3.87

ゆらくの里の中には、直接支援者以外（管理、厨房など）の職員を含む

平成30年3月31日在席の正職員が集計の対象

1人当たりの取得日数は、取得日数を期末人数で除して計算

各事業の管理者を含む

期中に職員の異動があった職員は、期末の部署にて年間取得日数を計算

データ

最多取得者は、25.5日（乳児の通院等）

取得数0日の職員が10名含まれており、上記集計に含まれている

□平成29年度事業活動収入対人件費比率について

平成29年度報酬改定に伴い、新たな処遇改善加算が設けられました。今回の改正は、福祉・介護職員1人当たり月額平均10,000円相当と考えられており、平成24年に始まったこの制度の累計支給額は、福祉・介護職員1人当たり月額平均37,000円相当（1人当たり月額444,000円相当）となりました。

当法人において平成29年度もキャリアパス要件を申請し、人事考課制度等の取り組みを行ないました。結果、処遇改善加算は、総額約38,000,000円程度となり、1人当たり概算（支給対象期末職員数61名で除算）で、622,950円支給することができました。新制度による増加額は、11,600,000円程度であります。また当法人は、支給対象外の正職員にも給与基本給に組み込み、法人の資金持ち出しとして支給しております。支給対象外の職員とは、サービス管理責任者、管理栄養士、調理師、事務員の18名であり、概算で11,213,100円となります。なお、処遇改善加算は、支給総額を職員へ人件費として支払わなければ、差額返還を求められることとなります。

人件費比率の上昇の主な理由は、この加算による上昇と考えられます。この加算は、人件費比率を上昇させる仕組みであり、もし今後更なる増加を制度化した場合には、処遇改善加算取得による人件費率増加対策の検討も必要となってきます。

〔比率〕

拠点	H27年度	H28年度	H29年度	
			人件費率	前年度比較
ゆらくの里	60.8%	60.4%	66.0%	+ 5.6%
今人	75.0%	72.4%	69.0%	3.4%
地域	73.1%	75.4%	76.5%	+ 1.1%
計	66.2%	66.2%	68.3%	+ 2.1%

人件費率算出において、事業活動収入から就労収入を控除した金額を分母として算出

〔金額〕

単位：千円

拠点	H27年度	H28年度	H29年度	
			人件費	前年度比較
ゆらくの里	229,692	243,856	276,496	+ 32,640
今人	87,226	89,691	93,217	+ 3,526
地域	107,630	128,145	141,550	+ 13,404
計	424,549	461,692	511,264	+ 49,571

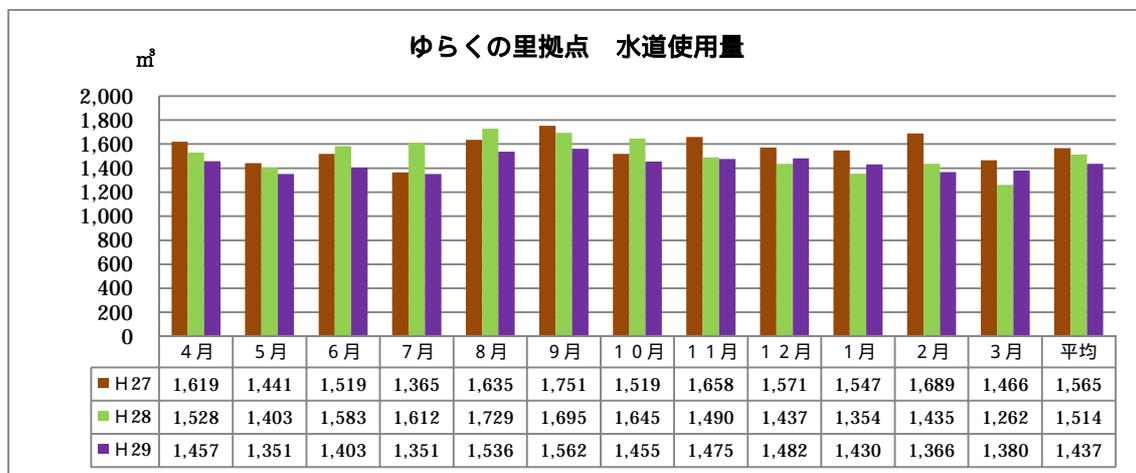
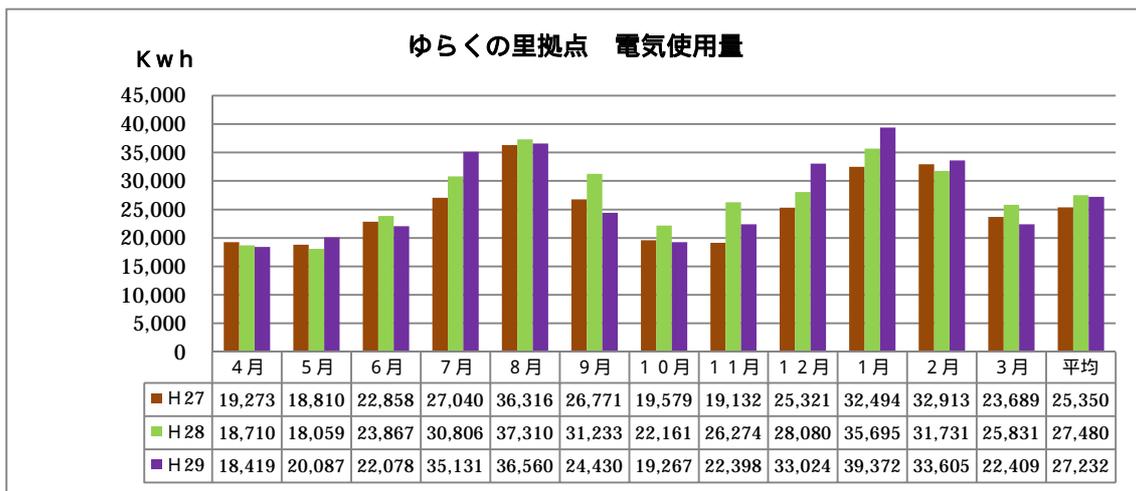
□平成29年度光熱水費について

各事業、光熱水費への節約努力は継続できております。29年度は、事業者やサービスの変更など特別な対応は行っておらず、各事業での努力によるものであります。今後、関電をはじめ、料金の値下げをはじめていることで、再度他社へ移行することも考えていかなければなりません。

ゆらくの里拠点

水道、電気共に年間使用量は、ほぼ横ばいとなっております。毎月環境担当より報告していることが、各職員への意識につながっており、減少傾向にあります。

	平成28年度	平成29年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	7,083 千円	7,178 千円	99.1%	101.3%
水道	5,464 千円	5,184 千円	94.9%	94.8%

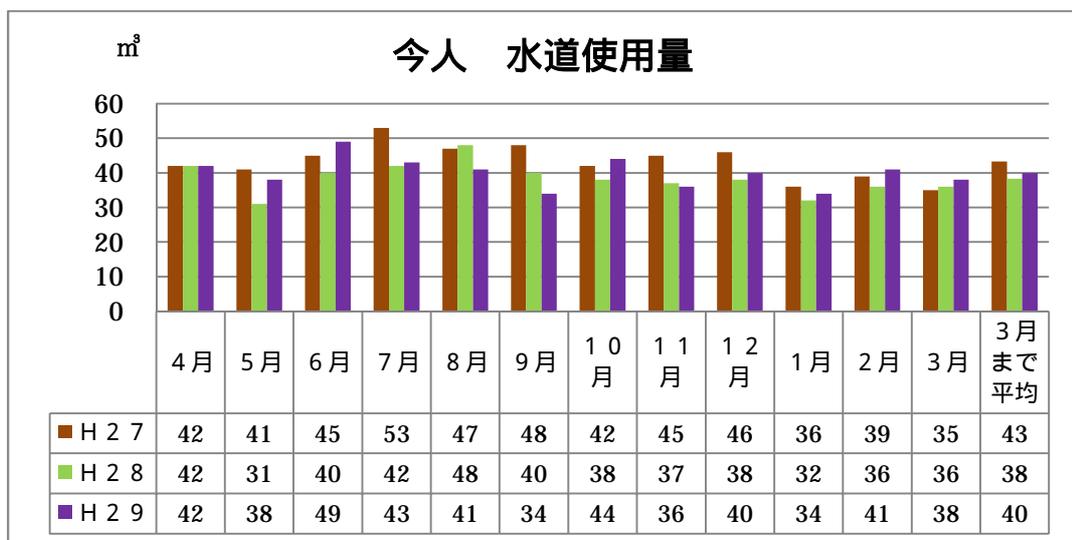
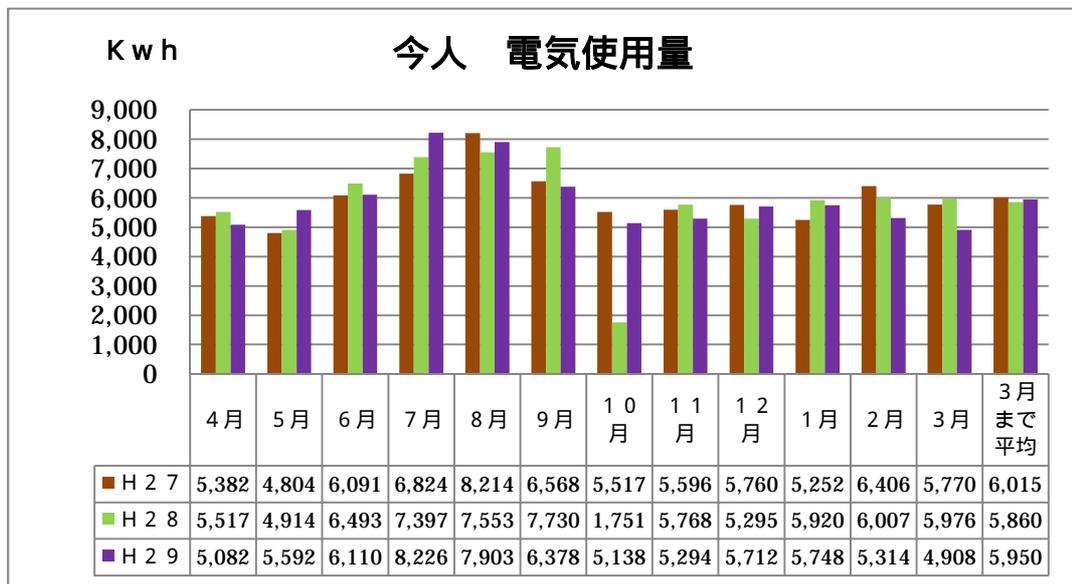


今人拠点（今泉）

直近3年間を比較しても大きな増減はなく、安定した使用であります。電気、水道ともにパンの売上＝製造量に大きく影響されます。また、ご利用者の人数が増えることでも変わってくることから、前期比増になったものと考えられます。

参考：パンの販売売上高前年度比較・・・100.4%

	平成 28 年度	平成 29 年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	1,670 千円	1,784 千円	101.5%	106.9%
水道	93 千円	98 千円	104.3%	105.7%

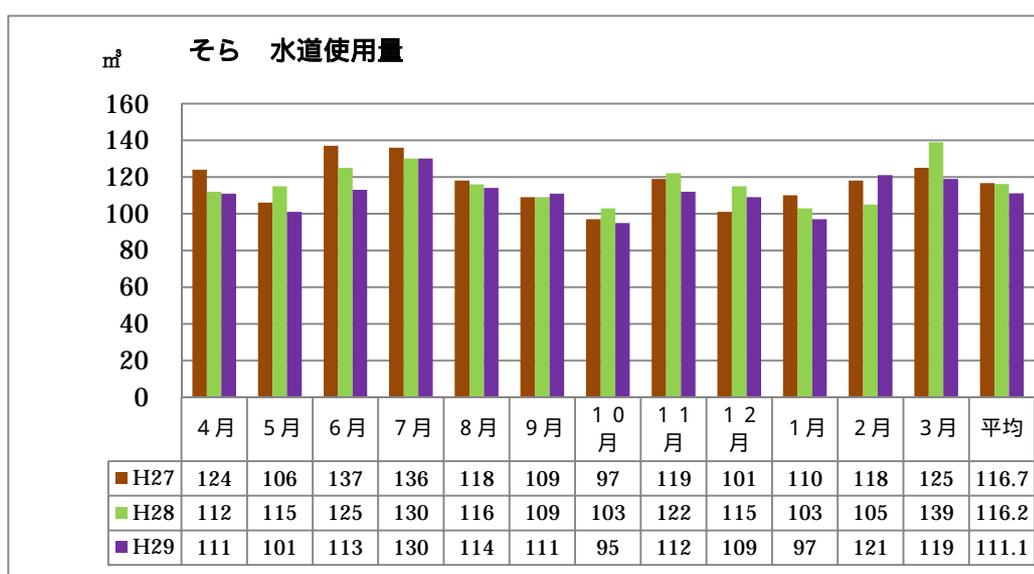
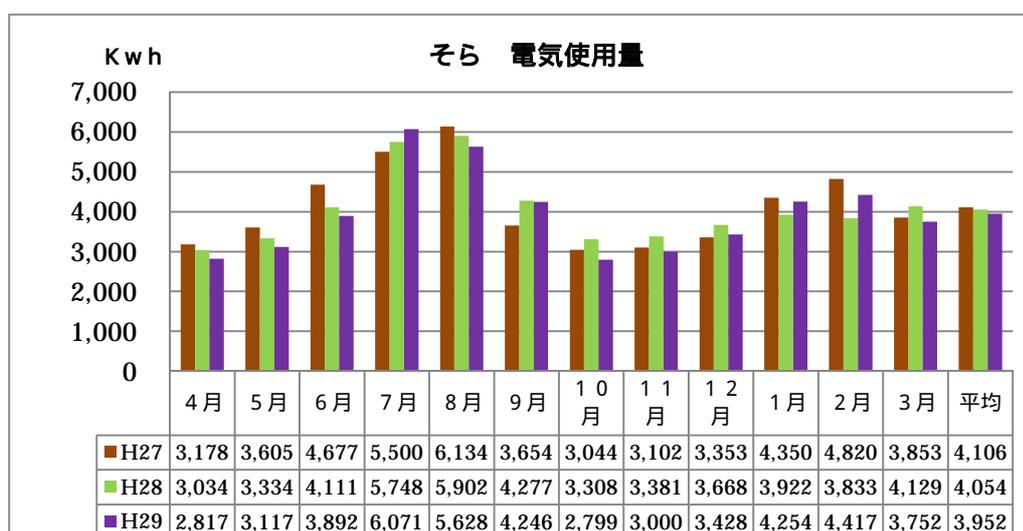


そら（福祉センター内）

電気、水道ともに減少しております。これは、店の売上に比例してほぼすべての要因と考えられます。売り上げの回復を行い、その上での光熱水費の管理をしていかなければなりません。

参考：食堂売上高前年度比較・・・94.7%

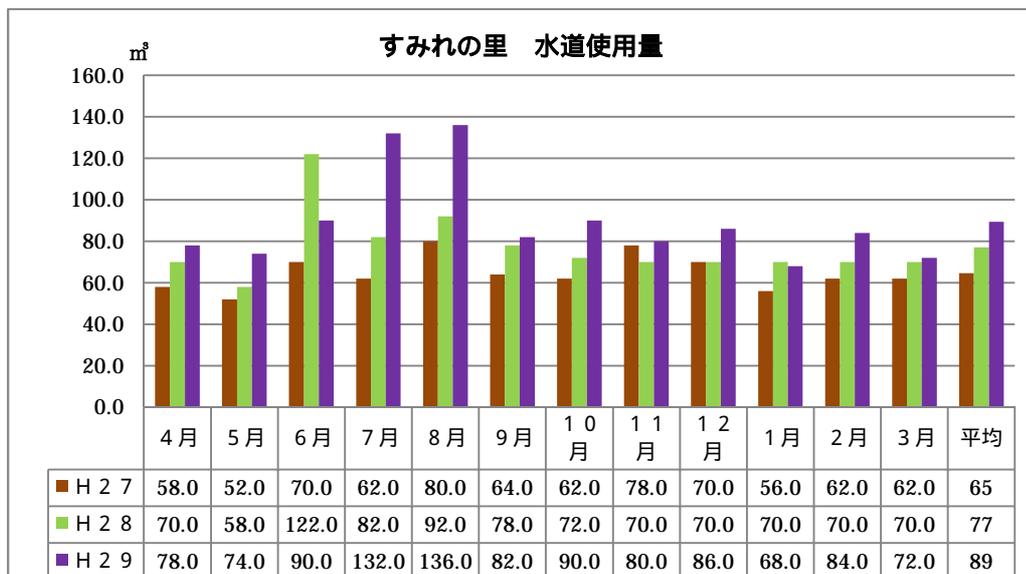
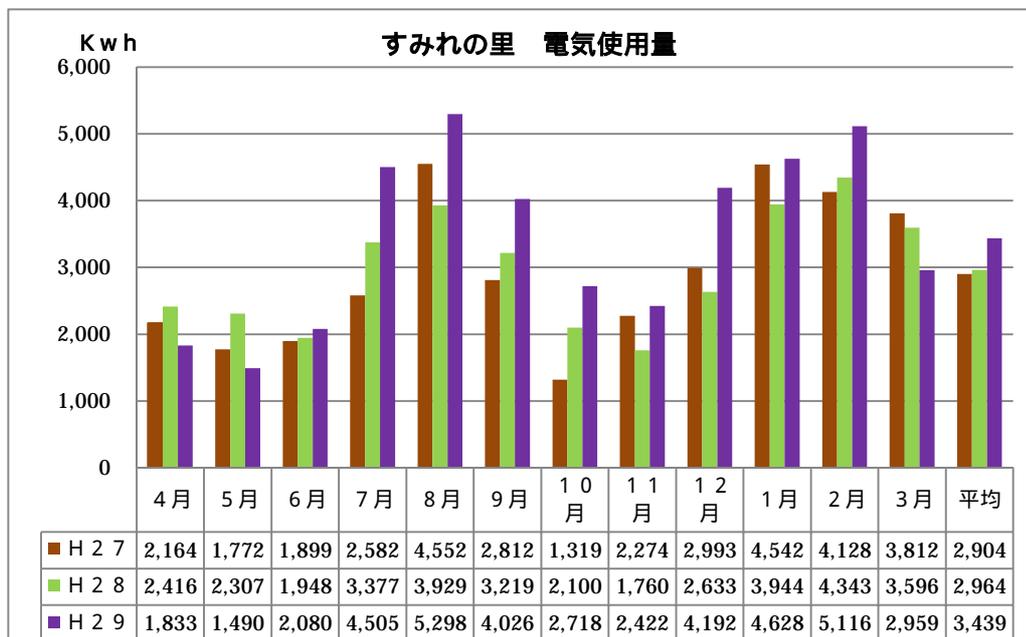
	平成 28 年度	平成 29 年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	740 千円	721 千円	97.5%	97.5%
水道	572 千円	547 千円	95.6%	95.6%



すみれの里（香芝市委託事業）

電気、水道ともに年々増加傾向にあります。主にご利用者の増加による影響であります。水道使用量については、畑のための使用により昨年度に続き15%以上の増加となっております。

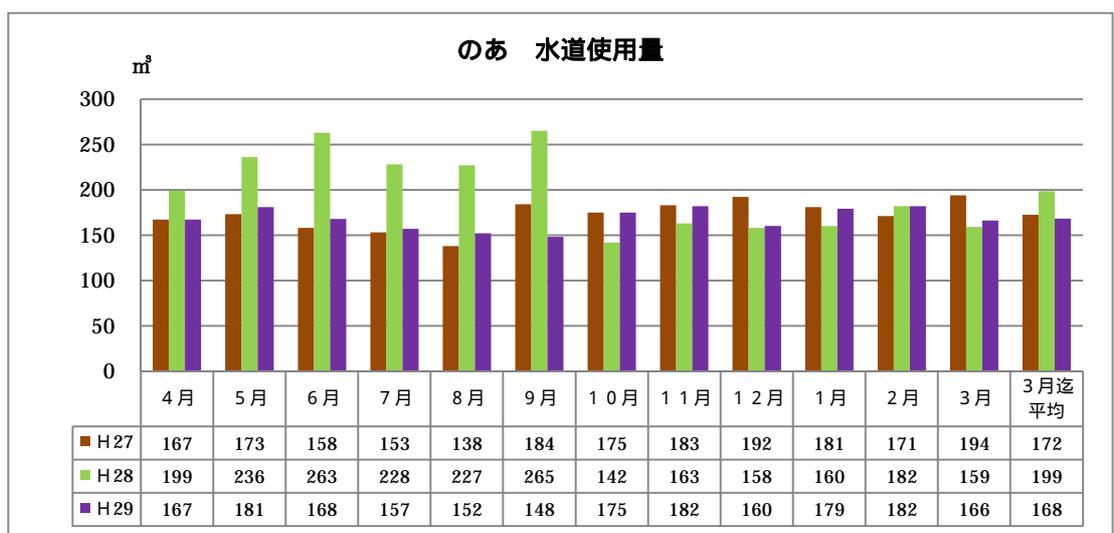
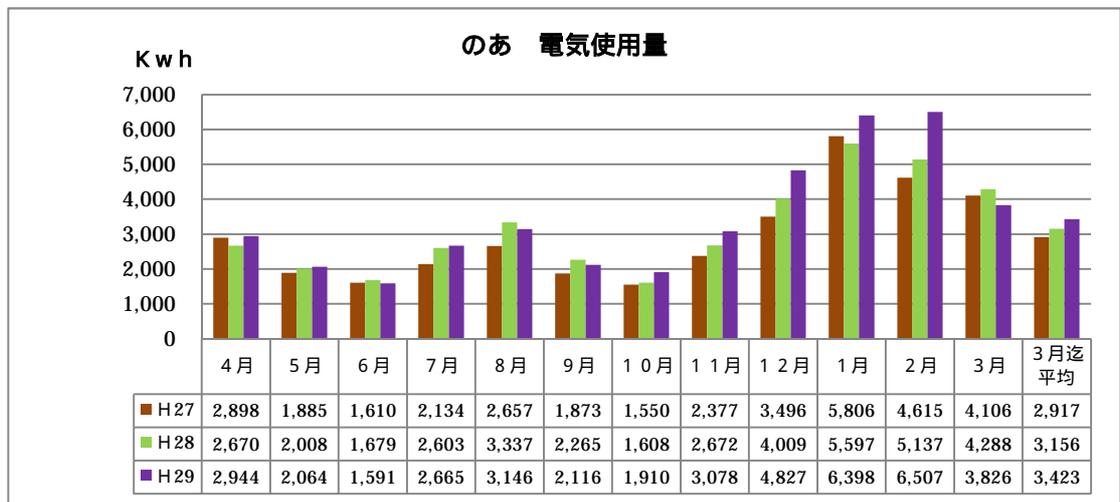
	平成 28 年度	平成 29 年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	1,108 千円	1,221 千円	116.0%	110.2%
水道	182 千円	204 千円	112.2%	116.0%



のあ（穴虫 グループホーム）

水道は、前年度漏水があったために料金、使用量ともに大きく改善された結果となりました。電気は、寒暖の差や部屋の使用方法により大きく増減することもあります。グループホームとしての使用方法で無駄がない様には検討していきます。

	平成 28 年度	平成 29 年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	991 千円	1,127 千円	108.4%	113.7%
水道	438 千円	326 千円	84.6%	74.4%

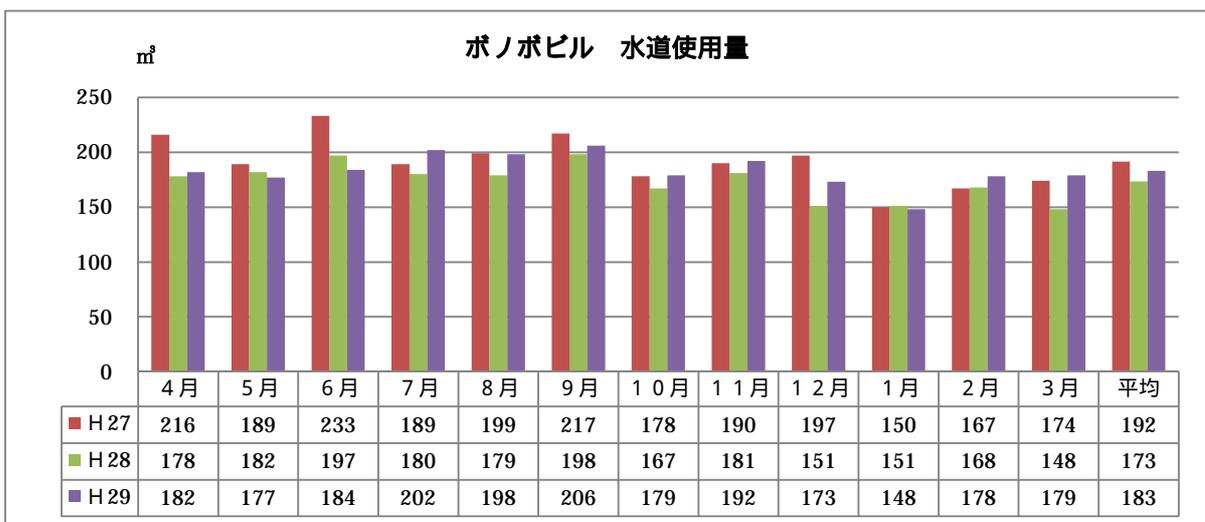
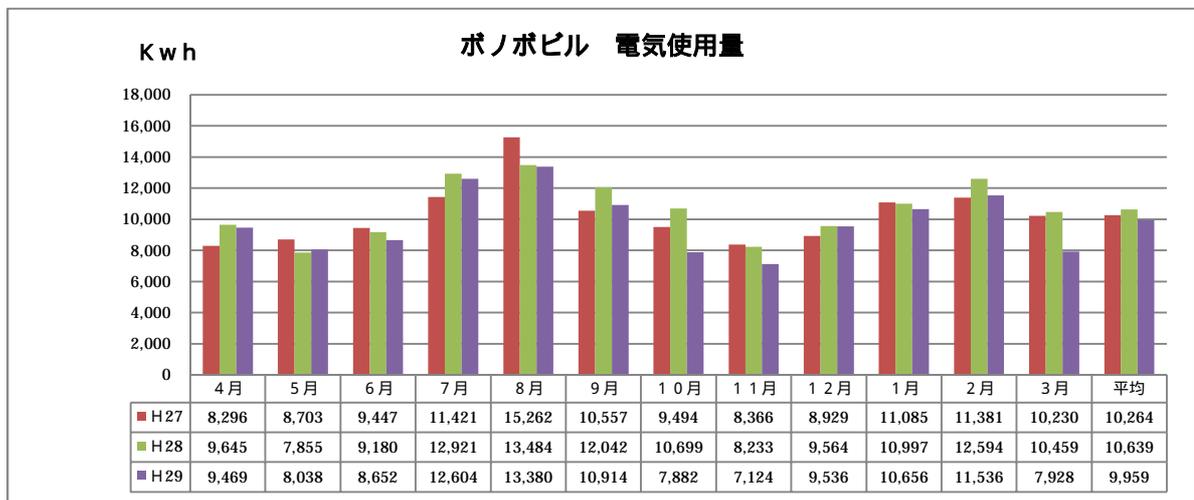


ボノビル（磯壁 地域拠点）

平成29年度に蛍光灯の多くをLED化したことで使用量は減少しました。ただ、クッキー工房やカフェを運営している関係上、製造量が上がったことで電気使用量は大きく減少することはありませんでした。

参考：カフェ及びクッキー売上高前期比・・・89.2%

	平成28年度	平成29年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	4,089千円	3,960千円	96.8%	96.8%
水道	409千円	438千円	105.6%	106.9%



□平成29年度就労支援施設の就労金について

前年度 8.7%の伸長率に対して 2.8%と大幅に伸び率が減少しましたが、就労収入に対する賃金比率は 30%を超えてきました。ご利用者の増加もあり、今後総額で増加する要因である一方、就労 A 型事業の廃止に伴う賃金の減少にて、平成 30 年度は総額で減少する予定であります。

各事業における 1 人 1 カ月当たり支給の工賃（賃金）

（単位：円）

	平成 28 年度		平成 29 年度	
	工賃総額	1 人当たり / 月	工賃総額	1 人当たり / 月
今人				
就労移行	856,423	10,979	871,702	10,646
就労継続 B 型	788,697	12,929	1,263,126	15,665
生活介護	2,290,847	12,450	2,472,149	10,476
計	3,935,967	12,185	4,606,977	11,439
我楽				
就労継続 A 型	7,284,389	69,375	6,385,234	74,247
就労継続 B 型	2,654,518	21,067	3,339,159	20,171
生活介護	584,312	2,892	572,280	3,489
計	10,523,219	26,373	10,296,673	22,375
すみれの里				
就労継続 B 型	403,080	5,677	378,371	6,306
生活介護	-	-	-	-
計	403,080	5,677	378,371	6,306
合 計	14,862,266	17,971	15,282,021	16,806

各事業の就労収入に占める工賃（賃金）割合

	平成 28 年度	平成 29 年度
今人		
就労移行	32.2%	21.8%
就労継続 B 型	27.9%	38.0%
生活介護	20.4%	27.7%
計	23.6%	28.4%
我楽		
就労継続 A 型	53.1%	48.6%
就労継続 B 型	12.8%	18.2%
生活介護	584.7%	927.8%
計	30.5%	32.6%
すみれの里		
就労継続 B 型	36.5%	40.4%
生活介護	- %	- %
計	36.5%	40.4%
合 計	28.3%	31.4%

就労収入には、内部売上を含む

□平成29年度固定資産の推移について

平成29年度、ゆらくの里では、職員及びご利用者の入浴に対する負担軽減のために、機械浴の導入を実施、その工事に伴い身障トイレの設置も行うなど、総額で10,000,000円の設備投資を行いました。（一部国の補助金をいただき実施しております。）ボノボの改修は、福祉事業を行う設備としての不備を県より指摘されたことの是正を平成29年度から平成30年度にかけて行います。その資金は、これまで積み立てた積立金14,000,000円を平成29年度中に取崩し準備しております。

取得一覧（100万円以上のもの）

単位：円

内容	金額	事業
【建物】 ゆらくの里 浴室改修	6,048,000	ゆらくの里(入所)
【建物】 ゆらくの里 新身障トイレ改修	2,214,000	ゆらくの里(入所)
【建物】 ボノボビル 屋上タラップ	1,080,000	我楽(生活介護)
【車両】 今人 キャラバン(6-26)	2,941,520	今人(生活介護)
【器具備品】 ゆらくの里 機械浴(本体)	3,452,102	ゆらくの里(入所)
【器具備品】 ゆらくの里 機械浴(ストレッチャー)	1,043,657	ゆらくの里(入所)

参考

平成29年度末において、4件の借入金が残っております。ここ数年実施して来た大型の設備投資によるものであり、まだ最長で18年の期間、支払いが継続します。

平成29年度末の借入残高及び今後の返済計画は以下のとおりであります。

単位：千円

借入事項	借入期間	借入残	返済計画				
			H30	H31	H32	H33	H34
カフェ内装工事資金	10	9,980	2,004	2,004	2,004	2,004	1,964
ボノボビル購入資金	10	50,652	8,004	8,004	8,004	8,004	8,004
風鈴山荘購入資金	20	127,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
運転資金	3	10,008	10,008	-	-	-	-
計		198,140	27,516	17,508	17,508	17,508	17,468
支払利息			1,823	1,629	1,436	1,267	1,088
5年間の合計支払利息			7,255				

運転資金の借入は、平成30年度中に完済します。

□平成29年度修繕費の推移について

1. 過去2年間の推移

修繕費は、28年度及び29年度は、それぞれ前年度の約75%減少しました。必要な修繕を必要最低限実施した結果であります。また、1,000,000円を超える修繕は発生しておりません。

30年度予算における修繕費支出は、更に25%減の4,695千円を予定しております。

拠点	処理科目	平成28年度	平成29年度
ゆらくの里	事業費	- 千円	38 千円
	事務費	3,456 千円	3,056 千円
今人	事業費	169 千円	196 千円
	事務費	523 千円	1,352 千円
	製造原価	84 千円	311 千円
地域	事業費	193 千円	- 千円
	事務費	3,907 千円	1,400 千円
	製造原価	147 千円	155 千円
合 計		8,482 千円	6,510 千円

処理科目とは、修繕費用のうち、製造原価に反映させるものは「製造原価」、その他の修繕費用は「事業費」「事務費」で処理しております。

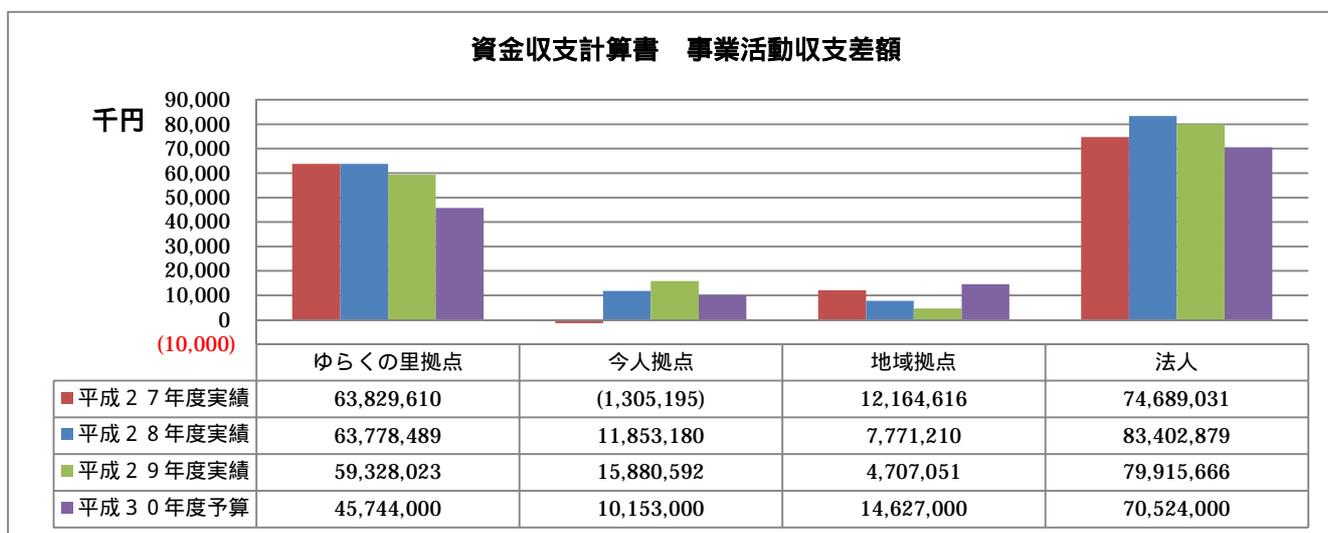
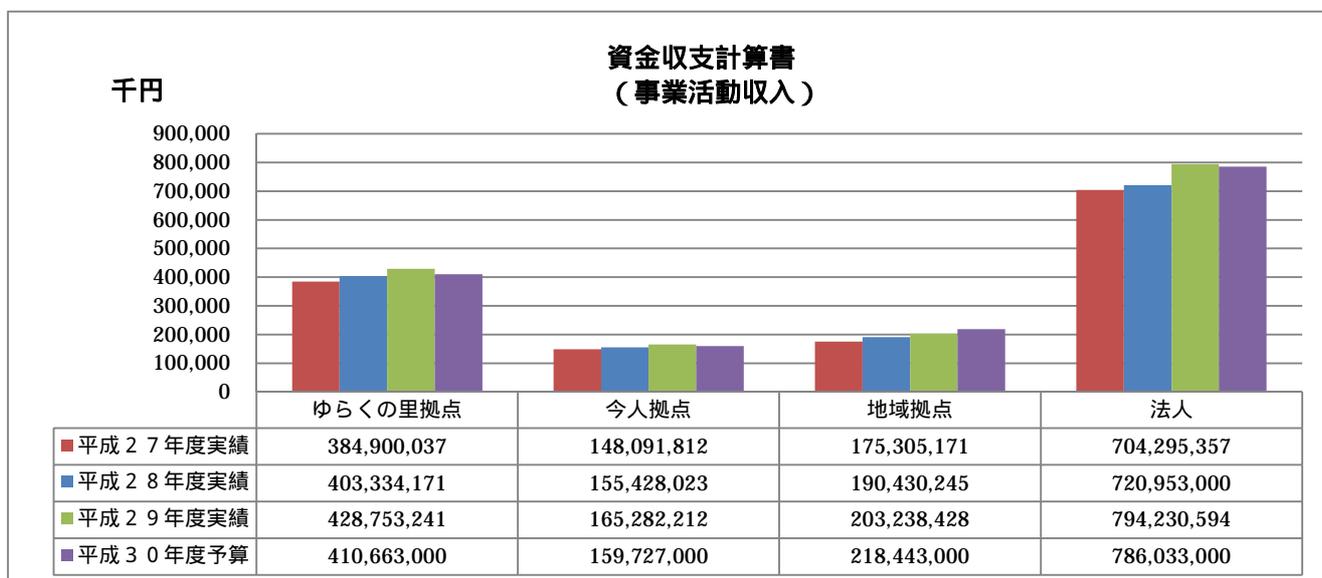
2. 修繕事業別内訳

分類	ゆらくの里	今人	地域	計
水回り（機械含む）	569,273	684,299	95,889	1,349,461
ガラス	463,492		-	463,492
公用車	856,364	326,998	510,509	1,693,871
その他設備	1,205,709	537,300	793,800	2,536,809
就労設備	-	311,476	155,574	467,050
計	3,094,838	1,860,073	1,555,772	6,510,683

□平成29年経営成績について

平成29年度は、各事業で取得可能な加算の申請、処遇改善加算の増加そして通所事業の利用率改善による取り組みで支援費収入は大きく増加しました。一方「平成29年度事業活動収入対人件費比率について」でも記載したとおり、人件費の増加などの理由により、事業活動収支差額は、減少する結果となりました。なお積立金は毎月積み立てることで確実に実施して増やすことができましたが、手元資金の増加までは行えませんでした。

しかし借入金返済や設備投資を差し引きした場合、約半数の9事業（本部を含む21事業中）において当期資金収支差額において不足（赤字）での運営となりました。平成30年度方針における「財政基盤強化」で示す通り、赤字事業を10%以内を実現しなければ、ゆらくの里の建替資金や新規事業の実施に結びつきません。



拠点別報告

1. 法人全体として

通所各事業が利用率改善等の努力をすることで、大幅な収入の改善につながりました。前年度赤字であったゆらくの里デイサービス等は黒字化しましたが、過去より3事業のB型事業、我楽A型事業及び相談支援事業での赤字の改善は実現しておりません。

資金収支赤字事業：今人就労継続B型、今人生活介護、我楽A型（そら）、
すみれの里就労継続B型、しゅーく、我楽就労継続B型、本部

《事業活動収支》

単位：千円

	H28	H29	増減差
事業活動収入	745,622	794,230	48,608
事業活動支出	662,219	714,314	52,095
事業活動収支差額	83,402	79,915	▲3,487

「H29予」とは平成29年度当初予算を指します。（以下同じ）

《事業活動収入》

単位：千円

	H28	H29	増減差
就労事業収入	48,761	45,684	▲3,076
福祉サービス	682,331	736,854	54,523
その他	14,529	11,690	▲2,838
計	745,622	794,230	48,608

《事業活動支出》

単位：千円

	H28	H29	増減差
人件費	461,692	511,264	49,571
事業費	92,632	85,706	▲6,926
事務費	51,477	60,676	9,199
就労支援支出	50,503	50,755	252
その他	5,913	5,911	▲1
計	662,219	714,314	52,095

2. ゆらくの里拠点

《事業活動収支》

加算申請や処遇改善加算の増加により収入は大幅に改善されましたが、同じく処遇改善加算の影響による人件費増などにより事業活動収支差額は減少することとなりました。

単位：千円

	H 28	H 29	増減差
事業活動収入	403,334	428,753	25,419
事業活動支出	339,555	369,425	29,869
事業活動収支差額	63,778	59,328	4,450

《事業活動収入》

加算申請や処遇改善加算の増加により収入は大幅に改善されました。

単位：千円

	H 28	H 29	増減差
就労事業収入	-	-	-
福祉サービス	390,014	418,911	28,896
その他	13,319	9,841	3,477
計	403,334	428,753	25,419

《事業活動支出》

処遇改善加算により人件費が増加しました。その他事務費や事業費は、削減されております。人件費については、ゆらくの里の配置がまだ十分でないため、平成30年度以降ももう少しばらばら増加傾向にあります。

単位：千円

	H 28	H 29	増減差
人件費	243,856	276,496	32,640
事業費	65,722	65,000	721
事務費	25,616	23,665	1,950
就労支援支出	-	-	-
その他	4,360	4,262	98
計	339,555	369,425	29,869

3. 今人拠点

《事業活動収支》

各事業の利用率が改善されたことで、収支は前年度以上に黒字化し、拠点としての黒字化運営が可能となりました。現状においては、平成30年度も黒字が継続されます。

単位：千円

	H28	H29	増減差
事業活動収入	155,428	165,282	9,854
事業活動支出	143,574	149,401	5,826
事業活動収支差額	11,853	15,880	4,027

《事業活動収入》

就労収入は、食堂事業の売上減にブレーキがかからず底が見えない状況であります。一方で福祉収入は、利用率の改善に努め、大きく増加しました。平成30年度以降、定員と利用契約者数の関係も検討しなければ、今後の戦略と契約が結びつかず、収入増は継続が困難となります。

単位：千円

	H28	H29	増減差
就労事業収入	31,650	30,301	1,348
福祉サービス	123,055	133,970	10,914
その他	722	1,010	288
計	155,428	165,282	9,854

《事業活動支出》

人件費、事業費、事務費と若干増に留まりました。就労支援支出は、就労収入の減に伴う減少ではありますが、減少率は低く、原価増となったことを示します。なお、他拠点と比較して人件費の増加率は低く、正職員の配置不足を非常勤職員で補ったことも背景にあります。

単位：千円

	H28	H29	増減差
人件費	89,691	93,217	3,526
事業費	8,272	9,582	1,310
事務費	13,576	14,604	1,028
就労支援支出	31,557	31,472	84
その他	477	524	46
計	143,574	149,401	5,826

4. 地域拠点

《事業活動収支》

前年度に続き黒字化しましたが、今年度も約40%の減少となりました。収支が黒字の事業所は、放課後等デイサービス及び生活介護事業であり、その他の事業の改善を実施しなければ、平成30年度は、拠点全体で赤字となる可能性はあります。

単位：千円

	H28	H29	増減差
事業活動収入	190,430	203,238	12,808
事業活動支出	182,659	198,531	15,872
事業活動収支差額	7,771	4,707	3,064

《事業活動収入》

工場の売上は改善したものの、カフェの売上が減少したことで就労収入は、大幅な減少となりました。一方各事業の福祉収入は利用率等の改善により大幅に改善されました。

単位：千円

	H28	H29	増減差
就労事業収入	20,681	18,426	2,255
福祉サービス	169,261	183,972	14,711
その他	487	838	351
計	190,430	203,238	12,808

《事業活動支出》

就労支援支出の増加は、就労支援収入が減少していることを考えれば原価増となったことがわかります。原価構成の見直しも行っていくとともに、30年度の人件費増の影響を見守っていきます。

単位：千円

	H28	H29	増減差
人件費	128,145	141,550	13,404
事業費	20,779	12,917	7,862
事務費	13,207	23,397	10,190
就労支援支出	19,451	19,540	90
その他	1,074	1,125	50
計	182,659	198,531	15,872

5. 就労事業活動

活動別収入

各作業の売上は以下の通りであります。

単位：円

活動名		H28年度	H29年度	増減	
今人	ふえりーちえ(パン)	13,943,555	13,556,139	▲387,416	97.2%
	そうじや(掃除)	2,344,559	2,503,524	158,965	106.7%
	内職	371,449	177,123	▲194,326	47.6%
	計	16,659,563	16,236,786	▲422,777	97.4%
我楽	レストラン	13,702,299	13,128,560	▲573,739	95.8%
	菓子	3,578,375	4,606,450	1,028,075	128.7%
	カフェ	17,022,442	13,771,642	▲3,250,800	80.9%
	内職	99,922	61,680	▲38,242	61.7%
	計	34,403,038	31,568,332	▲2,834,706	91.7%
すみれ	BDF	628,619	430,347	▲198,272	68.4%
	畑	473,100	321,190	▲151,910	67.8%
	内職	186,470	184,800	▲1,670	99.1%
	計	1,288,189	936,337	▲351,852	72.6%
合計		52,350,790	48,741,455	▲3,609,335	93.1%

内部売上を含むため、他の資料と合計金額が異なる。

活動別収支

平成29年度各作業の収支は下記の通りであります。

単位：円

活動名		売上	経費	収支	収支率
今人	ふえりーちえ(パン)	13,556,139	10,276,406	3,279,733	24.1%
	そうじや(掃除)	2,503,524	2,288,281	215,243	8.5%
	内職	177,123	936,515	759,392	-
	計	16,236,786	13,501,202	2,735,584	16.8%
我楽	レストラン	13,128,560	16,956,884	3,828,324	-
	菓子	4,606,450	6,907,271	2,300,821	-
	カフェ	13,771,642	13,481,695	289,947	2.1%
	内職	61,680	572,958	511,278	-
	計	31,568,332	38,714,364	7,146,032	-
すみれ	BDF	430,347	1,241,855	811,508	-
	畑	321,190	540,231	219,041	-
	内職	184,800	76,187	108,613	58.7%
	計	936,337	1,918,445	982,108	-
合計		48,741,455	54,134,011	5,392,556	-

活動経費（原価）率

各作業の原価内訳は下記の通りであります。

単位：円・%

活動名		材料費		労務費		経費		計
今人	ふえりーちえ(パン)	3,701,108	28.6	2,629,639	17.6	3,945,659	24.2	10,276,406
	そうじや(掃除)	0	-	1,477,851	44.5	810,430	31.8	2,288,281
	内職	0	-	499,487	116.7	437,028	95.0	936,515
	計	3,701,108	23.9	4,606,977	23.6	5,193,117	26.8	13,501,202
我楽	レストラン	6,196,729	43.5	6,385,234	53.1	4,374,921	32.4	16,956,884
	菓子	1,589,885	35.6	2,133,352	44.9	3,184,034	73.1	6,907,271
	カフェ	6,510,198	46.7	1,205,807	6.1	5,765,690	34.7	13,481,695
	内職	0	-	572,280	584.7	678	-	572,958
	計	14,296,812	44.2	10,296,673	30.5	13,325,323	37.7	37,918,808
すみれ	BDF	0	-	106,285	15.1	12,140	191.9	118,425
	畑	18,943	-	13,521	65.0	420,863	49.1	453,327
	内職	0	-	134,565	-	-	40.6	134,565
	計	18,943	-	254,371	31.2	433,003	117.6	706,317
合計		18,016,863	36.6	15,158,021	28.3	18,951,443	36.2	52,126,327

外注加工賃（外注仕入）は、材料費に含む。

割合は、対売上高比率

就労事業全体

全活動の収入は、前年度に引き続き 6.8%減となりました。（前年度 4.8%減）カフェをはじめ、当法人の収入の 3 本柱（パン製造、レストラン運営、カフェ運営のうち、レストラン及びカフェの運営改善が必要です。

レストラン事業〔我楽：A型事業 ふれあいキッチン「空・SORA」〕

売上の下げ止まりが見えないこと、収入における賃金比率が高いことにより収支の黒字化は困難であります。10名定員のA型事業所の運営で黒字化するのは困難であるため、平成30年3月末をもってA型事業所を廃止します。平成30年度は、すみれの里の就労継続B型にて運営を継続し定期ですが、賃金から工賃に変わることと、平成29年度までのような大きな赤字にはなりません。

パン事業〔今人：生活介護事業など ふえりーちえ〕

毎年度、パンの製造販売のこの活動は、3,000,000円以上の収支差額が発生する活動であります。パン以外にラスクの製造販売も行っており、ご利用者の作業としても適しており、売れ行きも好調であります。

掃除事業〔今人：就労移行支援事業ほか そーじや〕

就労移行支援の契約者が多く利用されており、直接一般就労につながる活動となっております。当活動の支援の充実を図り、より多くの方を一般就労につなげていきます。

内職班〔今人：生活介護事業ほか〕

一定以上の収入になる活動量はありますが、就労ではなく訓練の一つとしての活動であり、目的意識をもって取り組んでいきます。

製菓事業〔我楽：就労継続B型事業 スウィートファクトリー モンステラ〕

平成29年度はイベント「スイーツ甲子園」において奈良県代表となり、製品本体としての評価をいただきました。その影響もあり、収入は増加したものの、生産量のキャパが十分ではなく、今後の対応の検討が必要となっております。また同商品を含め、ご利用者の活動となり得るものの調整を図り、働き甲斐が持て、対価としての工賃を支給できるようにしていかなければなりません。

カフェ事業〔我楽：就労継続B型事業 ナチュラルカフェ モンステラ〕

売上は、前年度に続き平成29年度も大きく下回りました。職員努力に反比例していることから、活動全体の見直しをおこない、職員の業務負担も減らさなければ改善にはつながらない物であります。

モンステラファーム〔すみれの里：就労継続B型事業〕

前年度計画しておりました麦の栽培は行わず、これまでと同様に野菜の栽培を行ってきました。斑鳩町の畑は、土や水などの問題もあり、少しずつではありますが計画して進めている状態です。

環境班〔すみれの里：就労継続B型事業〕

廃食油から製造するバイオ燃料の販売先（香芝市等）がなくなったことから、活動としては廃食油や廃品回収の販売が中心となっております。過去の活動の清算を検討しながらも、現状の活動を有効に実施していかなければなりません。

なお、助成金にて設備を導入したため、償却期間が終了（平成31年末）までは、同事業を終了することもできず費用を負担して継続しなければなりません。

内職班〔すみれの里〕

ご利用者の機能訓練の活動として一部導入しました。ご利用者にとって、わかりやすい作業であったため、作業分担や個人の作業能力の向上が図れる事ができました。今後は、作業目標を持って取り組んで行くことも検討しております。

□平成29年度経営成績について

安全性比率

名称	分析の目的	H28 H29.3.31	H29 H30.3.31
純資産比率	総資産のうち自己資金で賄えている割合を測定する。	79.1%	81.0%
流動比率	短期に支払いを要する債務に対する支払い準備資産の割合を測定する。	288.4%	293.0%
当座比率	短期に支払いを要する債務に対する支払準備の現金預金の割合を測定する。	113.6%	136.4%
固定長期適合率	固定資産に投入された長期資金の割合を測定する。	88.4%	87.5%
現金預金保有率	総資産に占める現金預金の割合を測定する。	14.2%	17.4%
未収金回転期間	事業収入が現金化されるのに何か月要しているかの期間	2.07月	1.90月
未払金回転期間	何カ月分の経費支払いが残っているかを示す指標	0.98月	1.37月
減価償却累計比率	償却資産の使用程度を把握する。	34.5%	38.8%

当年度減価償却累計比率算定するための固定資産には、土地が含まれております。

ほぼすべての指標において、平成28年度より改善されております。ただし、数字ほど実際の資金繰りが楽になった感じはなく、引き続き手持ち資金の充実を図っていきます。資金繰りが数字ほど改善されていない理由として、一般会計に使用することのない本部会計資金の増加、また特定事業の資金の増加など、ゆらくの里本体の資金とは別のところでの増加が要因であると考えられます。

収益性比率

名称	分析の目的	H28 H29.3.31	H29 H30.3.31
事業活動資金収支差額比率	事業活動の資金収支上の収益力を測定する。	11.3%	10.1%
人件費比率	経常活動の収益力に人件費が及ぼしている影響を測定する。	65.6%	64.9%

収支差額が平成28年度より減少しました。この比率を上げていかなければ、各事業の将来が実現できません。目標数値をもって達成を目指していきます。

成長性比率

名称	分析の目的	H28 H29.3.31	H29 H30.3.31
事業活動収入増加率	前年同月比での成長率を測定し、傾向を把握する。	108.3%	106.4%
人件費増加率		114.5%	105.4%
事務費増加率		107.0%	117.9%
事業費増加率		105.1%	92.5%
事業活動収支差額増減率		111.7%	95.8%

収入の増加も行えておりますが、それ以上に人件費を含め費用の増加が起こっております。毎年収支差額増減率を上昇させることができるように「管理」を重要視した経営が必要です。

生産性比率

名称	分析の目的	H28 H29.3.31	H29 H30.3.31
総資産回転率	資産利用の効率性を測定する。	55.7%	58.6%
職員1人当たりの 経常活動収入	職員1人が生み出す経常活動資金収入の額を測定する。	10,071 千円	9,851 千円
利用者1人当たり 人件費	利用者一人当たりにかかる人件費の額を測定する。	10,132 円	8,797 円
職員1人当たりの 人件費	職員一人当たりにかかる人件費の額を測定する。	7,175 千円	6,848 千円
職員1人当たりの 利用者数	職員1人当たりが担当する利用者数を測定する。	118.0 人	129.8 人
労働生産性	職員1人が生み出す付加価値の額	7,989 千円	7,618 千円
労働分配率	生み出された付加価値が、人件費に分配された割合を測定する。	89.8%	89.9%

「職員1人当たりの利用者数」を除き、その他の職員には、間接職員を含み、パート職員、アルバイト職員は除く。

人件費は、簡易に計算ができるため非常勤給与も含む。

年間利用延べ人数には、そーる、しゅーくの利用者を含んでいない。(総数にあまり影響がないため)

労働分配率に変化がない事から、収入増に対する人員増(人件費増)はバランスがとれた

状態であると考えられます。まだまだ人員不足の部署もあります。人員を増やすことは収入増も伴って行っていかなければならない事の意識を持った経営を行っていきます。

□資金残高について

資金（預金残高）の推移について

1．ゆらくの里拠点・地域拠点

	平成 26 年 3 月 31 日	平成 27 年 3 月 31 日	平成 28 年 3 月 31 日	平成 29 年 3 月 31 日	平成 30 年 3 月 31 日
実残高	71,275,512	92,945,427	119,240,492	151,377,738	180,844,978
積立	38,280,000	38,280,000	58,100,000	85,500,000	96,800,000
-----	-----	-----	-----	-----	-----
会計上残	32,995,512	54,665,427	61,140,492	65,877,738	84,044,978
前期 比較	35,758,383	21,669,915	26,295,065	32,137,246	29,467,240

前期比較は、預金実残高で比較

手持ち資金の増加のうち、本部口座が約 9,000,000 円増えていることから、使用可能な手持ち資金の実増加は 10,000,000 円程度のもの。複数の 4 口座での増加額であるため、1 口座あたりの増加は、たいしたことはありません。まだ十分な手持ち資金には達していないため、今後も増加への取り組みを進めて参ります。

2．今人拠点

	平成 26 年 3 月 31 日	平成 27 年 3 月 31 日	平成 28 年 3 月 31 日	平成 29 年 3 月 31 日	平成 30 年 3 月 31 日
実残	64,522,040	44,457,725	26,442,409	37,954,166	52,781,383
積立	9,650,000	12,245,000	12,030,000	16,040,000	24,940,000
-----	-----	-----	-----	-----	-----
会計上残	54,872,040	32,212,725	14,412,409	21,914,166	27,841,383
前期 比較	33,324,319	20,064,315	18,015,316	11,511,757	14,827,217

全体には増加しておりますが、就労系の事業の口座は、なかなか増えておりません。現在の様にバランスよく運営できている間に積立等を行い、将来に備えて参ります。



積立金の使用目的について

現在の積立残高は以下のとおりであります。

科目	ゆらくの里	今人	地域	計
施設整備等積立金	90,400,000	13,000,000	6,400,000	109,800,000
工賃変動積立金	-	1,195,000	100,000	1,295,000
設備等整備積立金	-	10,745,000	1,000,000	11,745,000
計	90,400,000	24,940,000	7,500,000	122,840,000

29年度も積立を毎月行い、「必ず実施」が実現できました。

積立として、ゆらくの里拠点では、ゆらくの里の建替え資金として69,000,000円、風鈴山荘の修繕用に21,400,000円積み立てております。今人拠点においては、就労事業所の将来構想のための資金13,000,000円、工賃及び設備の更新の為に、それぞれ1,195,000円及び10,745,000円を積み立てております。地域与点は、ポノビルの修繕のために6,400,000円、我楽の就労事業において工賃及び設備の更新の為に、それぞれ100,000円及び1,000,000円を積み立てております。

また今人拠点においては、就労継続A型事業の工賃支払(工賃変動積立金1,100,000円)のための取崩し、地域拠点においては、ポノビルの改修費用(施設整備等積立金14,000,000円)の取崩しを行いました。

今後の資金計画について

現在、充実残高が約200,000,000円不足しており、昨年度より約6,000,000円のみ改善した結果となっております。現状のペースで、ゆらくの里の改修を行なおうとすると、あと約何年も必要とします。赤字事業の改善は必須であり、経営改善が求められています。

□平成29年度研修等報告

各事業において、ご利用者へのより良い支援を実施するために、1年間に亘り多数の研修への参加を実施してきました。研修で学んだことは、直接支援に活かされています。

平成29年度の参加研修は、以下のとおりであります。

1. 研修実績

事業名	平成28年度		平成29年度	
	参加件数	参加人数	参加件数	参加人数
ゆらくの里	20	54	21	42
栄養士	9	10	7	9
管理	13	15	15	16
今人・我楽・すみれの里	18	25	30	53
相談支援事業	20	30	11	16
児童課	16	54	20	84
地域支援(グループホーム)	2	2	2	2

2. ゆらくの里

ゆらくの里

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月20日	バリアフリー展 バリアフリー展事務局他	インテックス大阪	中山N 福本・小川
5月14日	自閉症eサービス基礎講座 自閉症eサービス奈良	ならまちセンター	西川・服部 西村
5月19日	奈良県施設協会総会 奈良県施設協会	奈良県社会福祉総合センター	中山・米田
6月4日 11日 18日 25日	行動援護従事者養成研修 広陵町商工会	広陵町商工会	北埜
6月11日	自閉症eサービス基礎講座 自閉症eサービス奈良	ならまちセンター	西川・服部
6月24日 25日	自閉症eサービストレーニング セミナー 自閉症eサービス奈良	奈良仔鹿園	西川・服部 浦林・秋田
7月9日	自閉症eサービス基礎講座 自閉症eサービス奈良	奈良市やまと会議室	西川・服部 浦林・秋田

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
7月 30日	自閉症 e サービス基礎講座 自閉症 e サービス奈良	ならまちセンター	西川・服部 浦林
8月 29日 30日	相談支援従事者初任者研修 奈良県	奈良県産業会館	中島
9月 10日 30日 10月 7日 14日	行動援護従事者養成研修 広陵町商工会	広陵町商工会	榎田
10月 1日	自閉症 e サービス中級講座 自閉症 e サービス奈良	県社会福祉総合センター	西川・服部 浦林・西村
10月 7日	北摂杉の子会研修セミナー自閉症スペクトラムの人達とのコミュニケーション 年齢・発達・状態に合わせた伝え方や表出の工夫 社会福祉法人北摂杉の子会	高槻市	黒松
10月 9日	自閉症 e サービス公開講座 自閉症 e サービス奈良	生駒セイセイビル	西川・服部 浦林・西村
10月 24日	施設見学研修 (いこま福祉会 かざぐるま かざぐるまえ～る 風のファーム)	いこま福祉会	中山
10月 29日	自閉症 e サービス中級講座 自閉症 e サービス奈良	吉野学園	西川・服部
11月 22日	施設見学研修 (青葉仁会 ポラーの広場 クラムボン)	青葉仁会	中山
12月 7日 8日 11日 15日	行動援護従事者養成研修 広陵町商工会	広陵町商工会	浅井
1月 14日 20日 27日 2月 3日	行動援護従事者養成研修 広陵町商工会	広陵町商工会	勝村
1月 28日 29日	自閉症 e サービス 評価セミナー 自閉症 e サービス奈良	かざぐるま	服部
2月 15日 16日	近畿地区知的障害関係施設職員研修 日本知的障害者福祉協会県施設協会等	奈良ロイヤルホテル	中山
3月 25日	なんとカンファレンス なんとカンファレンス実行委員会	畿央大学	中島

栄養士（調理師含む）

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月 11日	障がい者栄養士の会研修 障がい者栄養士の会	こだまの里	米田
6月 28日	特定給食施設等関係職員研修会 奈良県中和保険所	奈良県文化会館	北原
8月 23日	奈良県栄養士の会研究発表 ～実践で使える感染者対応マニュアル～	帝塚山大学	米田
10月 10日	障がい者栄養士の会研修 障がい者栄養士の会	心境荘苑	米田
2月 16日	近畿地区職員研修会 奈良県知的障害者施設協会	奈良ロイヤルホテル	米田
3月 8日	事業報告、会計報告 奈良県栄養士会	五條学園	米田
3月 17日	日本一の嚥下食を学ぶ 障がい者栄養士の会	和歌山県野上厚生 総合病院	米田 北原・奥山

管理

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月 12日	社会充実計画策定に係る説明会 奈良県	奈良県橿原総合庁舎	森本
5月 12日	平成 30 年 3 月新卒者対象採用研修会 大和高田公共職業安定所	かしはら万葉ホール	西原
5月 30日	介護業界ならではの採用手法 アイデム	アクティ奈良	西原
7月 21日	経営協セミナー（前期） 経営協	奈良ロイヤルホテル	森本
8月 17日	2018 年卒採用戦線報告会 マイナビ	奈良県文化会館	西原
9月 16日	奈良の人事講習会（前篇） ～募集・採用・内定辞退～ キャリアサポートみらい	奈良県社会福祉総合センター	西原
10月 13日	奈良県福祉・介護事業所認証制度 スタートアップセミナー 奈良県健康福祉部地域福祉課	奈良県産業会館	西原

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
11月 22日	年末調整説明会 奈良県葛城税務署	奈良県産業会館	森本
12月 12日	平成 29 年度 経営協セミナー 経営協	奈良県社会福祉総合センター	森本
1月 16日	経営協セミナー（後期） 経営協	橿原ロイヤルホテル	森本
1月 22日	奈良の人事講習会（後篇） ～定着・育成・評価～ キャリアサポートみらい	奈良県社会福祉総合センター	西原
1月 24日	NARAジョブフェア事前説明 会及び採用力向上セミナー	奈良県文化会館	西原
2月 13日	社会福祉法人の運営実務セミナー 全国福祉法人協会	ホテルマイステイズ 新大阪	岩井 森本
2月 26日	障害者雇用納付金制度説明会 独立行政法人高齢・障害・求職 者支援機構	ポリテクセンター 奈良	森本
3月 15日	奈良の人事講習会（最終篇） ～人を育てるOJTを本気で 考える～ キャリアサポートみらい	奈良ロイヤルホテル	西原

3. 今人・我楽・すみれの里

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月 14日	eサービス基礎講座 自閉症eサービス@奈良	大和ビルやまと会 議室	森田・中川 坂本
6月 11日			
7月 9日			
7月 31日			
6月 14日 15日 21日 22日	福祉職員キャリアパス対応生涯 研修（チームリーダーコース） 奈良県社会福祉協議会	奈良県社会福祉総合センター	阪本
6月 29日 30日	福祉職員キャリアパス対応生涯 研修課程（中堅職員コース） 奈良県社会福祉協議会	奈良県社会福祉総合センター	松本
7月 14日			
8月 4日			

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
7月 4日 5日	平成29年度 全国知的障害関係施設長等会議 日本知的障害者福祉協会	東京国際フォーラム	松下
7月 18日	農福連携セミナー なら人材育成協会	奈良県社会福祉総合センター	大谷
8月 29日		地域交流スペース ゆいえ	
8月 1日 2日	てんかん基礎講座 日本てんかん協会	大阪商工会議所	安田
8月 10日	ゆらくの里夏期施設内研修 ゆらくの里	ゆらくの里	森田、松本 安田
8月 25日	知的障害と認知症 なにわの里	柏原市立国分図書館	安田
8月 29日 30日	奈良県相談支援従事者初任者研修 奈良県社会福祉協議会	奈良県産業会館	松本
9月 19日	食品衛生実務講習 奈良県食品衛生協会	エルトピア中和	北井
10月 1日	自閉症eサービス 自閉症eサービス@奈良	奈良県社会福祉総合センター	森田・中川 坂本
10月 29日	自閉症eサービス 自閉症eサービス@奈良	桜井まほろばセンター	森田・中川 坂本
11月 8日	施設見学	みどりの家	森田
11月 15日 16日	防火・防災管理講習（新規講習） 奈良県防災安全協会	奈良県文化会館	阪本
11月 19日	医療講演会 日本てんかん協会	大和郡山市市民交流センター	後藤・藤元 松本
11月 26日	自閉症eサービス 自閉症eサービス@奈良	奈良県社会福祉総合センター	森田・坂本
11月 27日 28日	平成29年度奈良県強度行動障害支援者養成研修 奈良県社会福祉協議会	奈良県社会福祉協議会	安田
12月 19日			
11月 30日 5日 12月 22日 27日	平成29年度奈良県強度行動障害支援者養成研修 奈良県社会福祉協議会	奈良県産業会館	田中

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
12月 7日	就労支援技法ミニ講座 奈良障害者職業センター	奈良障害者職業センター	山口
12月 9日	ダウン症のある人の生涯にわたる支援とは ~ 学校を卒業したあとの支援について 大阪医科大学LDセンター 研修開発	大阪医科大学 本部 北キャンパス 看護学部講堂	大谷・池原
12月 10日	自閉症eサービス 自閉症eサービス@奈良	奈良県社会福祉総合センター	森田・中川 坂本
12月 11日	施設見学	かざぐるま	森田
1月 11日	平成 29 年度サービス管理責任者等研修 奈良県	奈良県産業会館	松下・松本 森田
1月 16日	就労支援技法ミニ講座 奈良障害者職業センター	奈良障害者職業センター	山口
1月 25日	第 13 回近畿地区知的障害者施設協会グループホーム等職員研修大会 近畿地区知的障害者施設協会	奈良県社会福祉総合センター	松下
1月 25日 26日	平成 29 年度サービス管理責任者等研修 奈良県	かしはら万葉ホール	森田
1月 29日 30日	平成 29 年度サービス管理責任者等研修 奈良県	奈良県橿原総合庁舎	松下
2月 6日 7日	平成 29 年度奈良県サービス管理責任者等研修 奈良県	かしはら万葉ホール	松本
2月 9日	なにわの里事例実践発表会 社会福祉法人なにわの里	柏原市立国分図書館	岡・田中
2月 14日 15日	平成 29 年度奈良県サービス管理責任者等研修 奈良県	奈良県産業会館	松本
2月 19日	平成 29 年度発達障害者支援セミナー 発達障害者の特性と就労支援方法 奈良労働局	奈良県社会福祉総合センター	松下・山口
3月 17日	自閉症eサービス実践報告会	西宮市フレンテホール	中川・岡 池原
3月 19日	魅力ある商品づくりに向けて 奈良県労働者福祉協会	エルトピア奈良	北井
2月 27日	スターとライン「原発被災地の障害者の暮らし」 東和圏域ネットワーク	三宅町役場	松下・阪本

4. 相談支援事業

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
6月 6日	明日香養護学校地域別懇談会 明日香養護学校	明日香養護学校	吉田
6月 15日	親が出る相続対策 せせらぎ会	橿原万葉ホール	保川
7月 1日	成年後見制度勉強会 ～成年後見制度をもっと身近に～ 生活支援センター「しええ〜く」	香芝市総合福祉センター	吉田・佐藤 保川・山林
8月 22日	地域生活支援拠点について 中和地区3市1町障害者自立 支援協議会	香芝市総合福祉センター	吉田
8月 29日 30日	奈良県相談支援従事者初任者研修 奈良県	奈良県産業会館	佐藤
9月 5日 6日 29日		橿原市立万葉ホール	
9月 21日	中和圏域障害者就労支援機構連 絡協議会 なら中和障害者就業・生活支援 センターブリッジ	奈良県産業会館	佐藤
1月 11日	平成29年度サービス管理責任者 等研修 奈良県	奈良県産業会館	吉田
1月 25日	サービス等利用計画等の評価の 質を高めるための研修会 香芝市	香芝市総合福祉センター	吉田・佐藤
2月 1日 2日	平成29年度奈良県サービス管理 責任者等研修 奈良県	橿原万葉ホール	吉田
2月 15日	自閉症スペクトラム障害児の理 解と家族支援の方向性 奈良県立登美学園	奈良県立登美学園	佐藤
3月 8日	障害福祉サービス従事者の防災 活動と備え 中和地区3市1町障害者自立支 援協議会	香芝市総合福祉センター	吉田
3月 14日	障害者の自立生活に向けて 大和高田市	青垣園	保川

5. 児童課

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月27日	幼児期にしておきたい子どもの身体を育てる遊びとその意味 ～不器用、多動など発達に課題のある子どもが楽しんで参加できるあそび～ 大阪医科大学LDセンター	大阪医科大学	浦田・原田
	幼児期の発達障がいのある子どもの理解と支援 ～保育園・幼稚園での集団生活と特別な場所での対応～ 大阪医科大学LDセンター	大阪医科大学	浦田・原田
6月10日	発達障がいの子どもに見られる「見る力」の問題とその指導 ～幼児期から学童期の視覚発達と学習との関連～ 基礎編 大阪医科大学LDセンター	大阪医科大学	浦田・西本 堺井・森田 的場
	感情をコントロールする力を身に付けるには ～感情をはぐくむ、感情を表現する、感情をコントロールする～ 大阪医科大学LDセンター	大阪医科大学	浦田・西本 堺井・森田 的場
6月18日	心もからだもはずむわくわく講座 アートセラピー ～心・身・感をつなげる遊び～ 戸村ゆり子	京都国際社会福祉センター	堀川
6月25日	箱庭療法を通じた支援と情緒不安定な児童へのかかわり方について S V石原先生 勉強会	ボノボ4F 天空	浦田・堀川 西本・池邊 原田・堺井 森田・的場
6月26日	接し方でこんなに変わる ～「問題行動」を「望ましい行動」へ～ 奈良県手をつなぐ育成会	奈良県社会福祉総合センター	浦田・堀川 西本・池邊 原田・堺井 森田・的場
7月9日	心もからだもはずむわくわく講座 心を通わせるからだ遊び体験 ～身体的共感を促すリズムと動き～ 山崎ゆかり	京都国際社会福祉センター	堀川
8月26日 27日	自閉症カンファレンス NIPPON2017 朝日文化事業団	早稲田大学	堀川
8月27日	ICTを活用して障がい児の学習・生活支援を行う「魔法のプロジェクト2017 ～魔法の言葉～」の実践研究とは 大阪医科大学LDセンター	大阪医科大学	浦田・堺井 的場
9月10日	事例検討 情緒不安定な児童へのかかわり方 S V石原先生 勉強会	ボノボ4F 天空	浦田・堀川 西本・池邊 原田・堺井 森田・的場

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
9月 22日	発達障がい連続基礎講座 自閉症スペクトラム症の特性と構造化による支援 社会福祉法人なにわの里	柏原市市民プラザ	森田・的場
10月 6日	発達障がい連続基礎講座 第2回 ～ ADHD・LDの特性と支援方法～ 社会福祉法人なにわの里	柏原市市民プラザ	森田・的場
10月 6日	香芝市公開講座 ～思春期の子ども達の心の世界～ 香芝市	香芝市 総合福祉センター	堀川・西本 堺井
10月 20日	発達障がい連続基礎講座 第3回 ～家庭との連携～ 社会福祉法人なにわの里	柏原市市民プラザ	森田・的場
11月 26日	S V石原宏先生 勉強会 ～スタッフ×石原先生 箱庭制作を通しての個人面談～ 社会福祉法人以和貴会	ボノボビル4階	浦田・堀川 西本・堺井
1月 12日	なにわの里主催 オープンセミナー ～自閉症の理解～ 社会福祉法人なにわの里	柏原市市民プラザ	堀川・西本 原田・堺井 森田・的場
1月 13日	行動や身体症状にあらわれる子どもの心の理解 ～発達障がいのある子どもの心身症～ 大阪医科大学LDセンター	大阪医科大学 看護学部講堂	浦田・堀川 西本 原田・堺井 森田・的場
1月 28日	S V石原宏先生 勉強会 ～講義 年齢による児童との関わり方や 気にかけるべきポイントの違いについて～ 社会福祉法人以和貴会	ボノボビル4階	浦田・堀川 西本 原田・堺井 森田・的場
3月 10日	SV 重松孝治先生 勉強会 ～講義 評価に基づく支援の実施～ 社会福祉法人以和貴会	ボノボビル4階	浦田・堀川 西本 原田・堺井 森田・的場

6. 地域支援（グループホーム）

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
9月 29日	大阪市移動支援集団指導 大阪市	城東区民センター	山林
2月	サービス管理責任者研修 奈良県 5日間	橿原万葉ホール	山林